

課題名	血中脂肪滴に関する基礎的調査
承認番号	2018-73 番
研究機関名	横浜市立みなと赤十字病院
研究責任者	所属 集中治療部 氏名 藤澤美智子
研究期間	(西暦) 2019 年 1 月 ~ (西暦) 2020 年 3 月
研究の意義・目的	<p>長管骨や骨盤骨折の患者様では、骨髄から血中に小さな脂肪滴が入るといわれています。その脂肪滴が多く肺や脳や全身の臓器に詰まると脂肪塞栓症という命にもかかわる病気が起こります。脂肪塞栓症の有効な治療はなく、どんな患者様で重症になりやすいのか、予防をどうすればよいのかも分かっていません。</p> <p>血中の脂肪滴は顕微鏡で見ることができますが、外傷以外でも検出されることがあります。外傷以外でどのような方に血中脂肪滴が観察されるのか、血中脂肪滴に関する基礎的な調査を行い、今後の脂肪塞栓症の病態解明につなげていきたいと考えています。</p>
研究の方法 (対象期間含む)	<p>対象期間：2019 年 1 月から 2020 年 3 月</p> <p>対象となる方：対象期間内に当院の外来または入院で採血をした患者様</p> <p>方法：機械測定で異常があった患者様の検体は、さらに詳しく検査するために自動染色されます。自動染色されたプレパラートの中で血中脂肪滴がみられた時には、その患者様の病気や経過、どうやって採血されたかなどについて電子カルテから情報を集めて、何が関連するのかを調査します。</p> <p>また、患者様から採取した血液は 1 週間保存されますが、保存されている間に脂肪滴の形や数が増えるかどうかを調べます。</p> <p>血中脂肪滴が今後簡便に検出できる方法を考えます。</p> <p>すべての過程で、すでに作られたプレパラートを顕微鏡で観察いたしますので余分に血液を採ったりすることはありません。</p>
試料・情報の利用目的及び 利用方法 (匿名加工する場合や他施設へ提供 される場合はその方法を含む)	<p>プレパラート検体を用いて顕微鏡で脂肪滴の数や形を検査します</p> <p>脂肪滴がみられた患者さんのカルテで、患者様の病気や体の調子経過を調べます。</p> <p>資料・情報は匿名化し、個人が同定されることはありません</p>
利用又は提供する 試料・情報の項目	<p>血液検体から作られたプレパラート</p> <p>電子カルテから得られた患者様情報</p>
試料・情報を 利用する者の範囲	集中治療医師 (研究責任者：藤澤美智子)、救急科医師、病理科医師
試料・情報の管理における 責任者の氏名又名称	集中治療部 藤澤美智子

(当院及び提供先)	
問い合わせ先	当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ 〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下 3-12-1 横浜市立みなと赤十字病院 所属 集中治療部 氏名 藤澤美智子 TEL:045-628-6100 (代表) 内線 3808 (事務局) / FAX:045-628-6101